

## 実際に住んで分かったベトナム人の国民性

埼玉親善大使 留学レポート

留学先 ベトナム・ハノイ

氏名 岩崎 友李

この度は、埼玉世界行き奨学金に合格させていただき、ありがとうございました。3月28日をもって、約1年1カ月の留学が終了しました。

実際にベトナムに行き、埼玉県出身であることを言うと多くのベトナム人が「私の友人は埼玉県に住んでいるよ。」「私は埼玉県に住んでいたよ。」と言いました。そこで、埼玉県にベトナム人が多くいることが改めてよく分かったため、私は、皆さんにベトナム人の国民性について紹介したいと思います。

ベトナムに来て驚いたことがありました。それは伝統を守る意識が若者にも浸透していることです。日本にもたくさんの行事がありますが、伝統を守っている人は少ないのではないのでしょうか。仕事が忙しい、時間がないと言って準備に手間をかけなかったり、おせちだったり、恵方巻きなどの料理は手作りせずスーパーで買うという人が多いと思います。しかし、ベトナムでは違いました。特に印象に残ったのは、結婚式と旧正月で

結婚式の様子



した。日本では近年結婚式を 挙げない人が増えていきますし、簡略化して行う人も多いと思います。しかし、ベトナムでは、結婚式を挙げないという人や簡略化している人はいませんでした。誰もが当たり前のように、結婚式を伝統に沿って挙げます。そして、旧正月はベトナム人の誰もが大切にするイベントです。大晦日から旧正月にかけて首都ハノイに

ベトナム人はほとんどいませんでした。あんなに多いバイクも全く通りません。残っているのはハノイ出身の家族と外国人だけです。どの会社も休みになり、ベトナム人は実家に帰ります。私自身も旧正月の期間、友人の実家で過ごしましたが、1日だけ用事があり、ハノイで過ごしました。普段賑やかな道路は人も車もバイクも滅多に通りません。もちろんほとんどのお店が閉まっているため、食料を探すのも一苦労です。どこに行くにしても、歩いて行くか時間をかけてタクシーを探さなければなりません。ベトナム人にとってこの旧正月はとても重要なイベントのため、誰もこの不便さを気にしません。また、どんなに大変でも準備を怠らず、旧正月を迎えるまで朝から晩まで準備をします。特に、旧正月に食べられるバインチュンという料理を作るイベントは家族にとって重要です。家族全員で集まり、手作りします。家族を大切にするベトナム人にとっ

てバインチュン作りは久しぶりに家族全員が集まって、お喋りをしながら一つのことを行う大切な時間でもあります。実際に友人の家で体験しましたが、私はふと疑問に思いました。日本にも素敵な文化がたくさんあるけれど、彼らのように大事に伝統を守ろうとしているか、忙しい現代社会の今、いくつかの伝統を失うのではないかと思い、改めて、伝統を守ることの大切さを感じることができました。ベトナムは確かに日本より発展していません。だからこそ、文化や伝統を守ることができるのかもしれませんが、私はそれ以上に大きな理由があると思っています。それは、ベトナム人の家族を大切にする気持ちです。日本人も家族を大切にしますが、その気持ちの差は比べ物にならないほど大きいです。誰に会ってもベトナム人は言います。「ベトナム人にとって家族が一番大切だ。友達は嘘をつくかもしれないけれど、家族は嘘をつかない。ベトナム人は自分のために働くのではない。いつでも家族を一番に思って働くのだ。」と。それを聞いて私は、ベトナム人は誰もが家族を一番に思うからこそ、伝統をしっかり守ることができるのだと思いました。様々なことがありましたが、実際に住んでわかることがたくさんありました。貴重な経験ができたと思います。そして、埼玉県にいる多くのベトナム人も家族を思って働いています。日本人にとって理解できない文化もあると思いますが、彼らの家族のためを思って覚悟を持って日本に働きにきた気持ちをぜひ、理解してあげて欲しいです。



旧正月の料理



バインチュン作り